

<白金標準、中国の景気刺激策期待から 4300 円へ・・・>



(出所：オアシス)

生産者物価指数（PPI）や消費者物価指数（CPI）が高止まりを見せ、長期に渡り金利は高止まりを示す可能性が高まりを示している。またミシガン大消費者信頼感指数でも 63 へ低下するなど消費マインドは低下し、1 年先のインフレ期待は 3.8%へ上昇するなど、景気懸念を示す内容となっている。またイスラエルとハマスの戦争でも、イスラエル軍がガザ地区に侵攻を開始し、イランはイスラエルの行動をけん制するなど中東情勢に不確実性が高まりを見せている。特に週末は原油価格が 5%を超える上昇を見せており、インフレを高める原油高は景気後退懸念の引き金になる可能性が高く、金価格の逃避商品と違い、景気商品の側面が強い白金価格は、戻りを抑えられる値動きに結び付いている。ただ金価格の反発は白金価格の下値を支える動きに結びついており、4200 円を回復している。また中国政府は景気支援策で、20 兆円規模の国債発行を今月中に開催されるチャイナ 7 の常務委員会で承認されると景気商品の支援要因であり、白金標準先物は 4300 円を上回りながら 4400 円へ向けた回帰相場を続けると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げだし、**シグナル** は切り下げるなど強気のクロスが予想される。また RCI では**短期**が上昇し、**長期**は切り上げており、下げ渋りから反転する値動きが強まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,270,000 円(2023 年 10 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 84,480 円(2023 年 10 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>